

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

8月6・7日に現地審査があります！



日本ジオパーク認定現地審査として、8月6・7日に日本ジオパーク委員会の審査員が美祢市を訪問されます。現地審査は、**市民のジオパーク認定への意気込みを審査員が確かめる場**であり、認定を大きく左右するものです。

現地審査は、市民のみなさんが常日頃からもっている「市民力」を発揮する時です。美祢市の日本ジオパーク認定を一緒につかみとりましょう！

【審査行程】 ※各場所の時刻は予定です。また、行程は急遽変更となる場合があります。

1日目：8月6日（木）

美祢駅（8:30～） → 美祢線乗車（9:02～9:11） → 於福駅（9:11～） → 道の駅おふく（9:30～） ⇒ 江原地区（10:30～） ⇒ 八代ぬくもりの里（昼食 / 12:30～） ⇒ 別府弁天池（14:20～） ⇒ 秋芳洞（15:40～）

2日目：8月7日（金）

秋吉台カルスト展望台（8:00～） ⇒ 宇部興産(株)伊佐セメント工場（9:30～） ⇒ 鳳鳴地域交流センター（10:30～）

【市民のみなさんをお願いしたいこと】



- 審査員のお出迎え・お見送り（※お近くの審査場所にお越してください）
- ジオパークポロシャツを着る
- ジオパークのポスター・幟旗を掲げる
- 沿道で手を振る

よろしく
お願いします



裏面はMine 秋吉台ジオパーク構想についての基礎情報をまとめたものです。ジオパークについてもっと知りたい！という方はもちろん、当日の審査に立ち会える方もそうでない方も、ぜひお読みください！

■そもそもジオパークってなに？

「ジオ」は「地球」や「大地」、「パーク」は「公園」という意味です。ジオパークとは、地域の見どころに行ったり、名物を食べたりしながら、その地域の自然や文化の成り立ち・しくみを楽しみながら学ぶ場所のことです。ジオパークをひとことと言うと「**地球の遊び場！**」です。



■美祿市のジオパークの名前はなに？

「**Mine 秋吉台ジオパーク**」です。「美祿」が「Mine」と表記されているのは、英単語の「Mine」には「^{マイン}鉱山」や「私のもの」という意味があり、「Mine」という一単語に「^{マイン}鉱山で栄えた私たちのふるさと“美祿”」という想いが込められているからです。ちなみに、ジオパークの範囲は美祿市全域です。

■Mine 秋吉台ジオパークのテーマはなに？

「**カルスト台地に息づく地球と生命の歴史**」です。秋吉台のカルスト台地で育まれてきた歴史を地域内外の多くの方に知ってほしいと考えました。また、石灰石や石炭、銅などの鉱物資源によって、美祿市が発展してきたこともきちんと伝えていきます。

■Mine 秋吉台ジオパークの見どころはいくつ、どこにあるの？

Mine 秋吉台ジオパークの見どころ（ジオサイト）は、現在34カ所あります。具体的には、Mine 秋吉台ジオパークの公式HP（<http://mine-geo.com/>）か、GEO協議会だよりの平成27年特別号をご覧ください。

■Mine 秋吉台ジオパークに理念ってあるの？

Mine 秋吉台ジオパークは、**ジオパーク全体の理念（保全、教育、地域振興）**に基づき、持続可能な地域社会の実現を目指して、住民、行政、そして研究者が地域のためになにができるのかということと共に考え続け、**地域を経済的にも精神的にも幸福にします！**



■日本ジオパークに認定されたら、どんな良いことがあるの？

ジオパークは、地域住民の保全や教育への熱意がなければ認定されません。つまり、ジオパークの認定は、活動に関わった多くの地域住民、すなわち美祿市民に喜びを届けることができ、**今後の市民活動（＝まちづくり）に好影響をもたらす**でしょう。ただし、日本ジオパークへの認定はあくまで通過点であり、**大切なのは末永くジオパーク活動を続けていくこと**です。